

# 石神井池通信

～ 令和2年度かいぼり実施の報告 ～

## ついに「かいぼり」が始まりました！

以前よりお知らせしていた石神井池の「かいぼり」が、いよいよ始まりました。

1月6日(水)の朝、石神井池下流の堰板を外すと、勢いよく水が流れだしていきました。

排水・池干し・湛水(水を溜める)と3月19日(金)頃までの長丁場のはじまりです。



1月6日 堰板を外し、かいぼりがスタート



1月6日 10:00  
排水作業開始直後

いつもどおりに豊かに水をたたえた石神井池。まだ、変わった様子はみられません。



1月10日 10:00  
排水作業開始4日後

池底が見えはじめ、ボートを避けるための柵の柱が根元まで見えるようになりました。



1月13日 10:00  
排水作業開始7日後

左の写真でうっすらと見えはじめた底泥は、陸のようになり、見える範囲も拡大しました。

## 排水・池干しの効果と今後のスケジュール

一部に水たまりが残っているものの、底泥がひび割れを起こした場所もみられます。こうした場所では、本ニュースレター No.3 でもご紹介したように、微生物の活動が活発化して池の水の富栄養化の要因となるチッ素の空気中への放出や、リンが水に溶けにくくなる等の水質改善の効果が期待されます。今後も引き続き2月24日(水)まで池を干しあげていき、2月25日(木)から湛水作業を始めます。

また、自転車や原付バイク・ベンチ等のゴミも、水位の低下とともに見えるようになってきました。これらは搬出・処分し、池の美化を進めます。



干しあがってできた底泥のひび割れ



投棄された自転車

### 《スケジュール》

2021年					
1月		2月		3月	
排水作業					
池干し					
				湛水作業	

# 生きものの捕獲を行いました

令和3年1月16日(土)、1月17日(日)の2日間、地元関係団体、井の頭かいぼり隊、公園協会が実施した都立公園池かいぼり経験者をはじめ、練馬区職員、東京都公園協会と協働で生きものの捕獲作業を行いました。魚類・エビ類など多種多様な生きものが多数捕獲されました。なお、本ニュースレター No.3でもお知らせしたように、外来種は駆除し、在来種は一時的に飼養し、湛水後に池に戻します。

## 【捕獲された生きもの】

種名		捕獲数
在来種	モツゴ	998
	ギンブナ	927
	テナガエビ	243
	スジエビ	102
	クロダハゼ	7
	ナマス	2
	ニホンウナギ	1

種名		捕獲数
外来種	ブルーギル	3,515
	ゲンゴロウブナ	1,274
	コイ(飼育型)	322
	ヌマチチブ	190
	オオクチバス	72
	アメリカザリガニ	14
	カワリヌマエビ属	11
	ミシシippiaアカミミガメ	2
	クサガメ	2
	ハナガメ	1
	ほか3種	11



## 捕獲された 主な生きものたち

今回捕獲された平均的なものを  
計測した大きさ(体長)

### 在来種

ギンブナ 約30cm



モツゴ 約10cm



テナガエビ 約12cm



スジエビ 約5cm



0 5 10 cm

### 外来種

コイ 約60cm



ゲンゴロウブナ  
約40cm



オオクチバス  
約30cm



ミシシippiaアカミミガメ  
約20cm



ブルーギル  
約15cm



アメリカザリガニ  
約15cm



ヌマチチブ  
約8cm



0 5 10 cm